

中央労働学園（假稱）に、資産とこれに本會の事業一切を繼承せしめてその更生を期せんとする。而してこれにまた、往年本會創立のために、巨財を捧げ心血を瀝いたる先輩諸賢の憂國の至情に酬ひる最上の途であるかと信ずるのである。

堂々の立言、よく情理を盡したものと信ずるが、コ  
ーエン氏は恐らく、協調會の業績を弁證してゐること、  
、協調會の性格が保存せらるゝと考へたことの二点に、不  
端と不安とを感じたものであろう。殊に先づ末段を讀ん  
ひ表情を動かしたものは

" the successful fulfillment of its mission in the  
future — " planning to succeed to the activities  
of the Kyodo - Kai "などの文字、殊に  
" the sincere spirit of patriotism "などの表現が刺  
激を興へたのを知れない。この理由書は、少くも文書の  
形式として添附したものであるし、少くも洗練したいニ  
三の文字にあるので、一切發表を差控へることにした。  
しかしこの會談があつたために、G、H、Qの意向は一  
層判明し、また後で文書や出版などにこれを書かればら  
起るかも知れなかつたいざこざが、事前に解消する結果  
となつたのはむしろ幸であつた。